

前週例会 (9月27日) レポート

ニコニコBOX 創立第2106回例会 10件 計 34,000円 累計 444,000円

○宮脇さんにゴルフでお世話になりました。 ○乃田様に客話をしていただきました。

三井君

市原君

○川畑さん、阿比留さんにお世話になりました。

○ガイナーズ後期優勝しました。応援ありがとうございました。

川畑君

○米田先生にお世話になりました。

○羽田東京工場環境優良工場で経済産業大臣賞を受賞しました。

佐野君

○市原さん写真有難うございました。

三井君

○三井さん写真有難うございました。

上野君

○会長受賞おめでとうございました。

土屋君

塚田様

会長報告

○9月20日東京で、環境優良工場の表彰があり、日本での最優秀環境印刷工場として、新日本印刷の羽田東京工場が経済産業大臣賞を受賞しました。この賞は私が目標としていた賞で、一番ほしかった賞でもあります。7年前に計画し環境を最優先で考えた印刷工場です。設備も高松本社同様の規模で、全て水なし印刷等々、環境に対しては出来ることを全てやり遂げた工場です。今年は東日本大震災の発生した年、賞としては10回目という節目の回数にもなり、こういう時期に賞を受けたのは、本当に皆様の支えもあり、集大成の年になりました。有難うございました。

○今週は、例会変更で10月2日県営サッカー場でサッカーの応援と募金活動です。

○10月8日、9日は、ロータリー地区大会が徳島で開催。

幹事報告

○10月のロータリーレートのお知らせ…現行と変わらず1ドル=78円です。

○例会臨時変更のお知らせ…なし

客話

○「南海地震に備えて…パートII」 香川県防災局危機管理課 防災指導監 乃田俊信様

[天災は忘れた頃にやってくる]

東日本大震災また台風等の災害は今年多く来ました。どうしようもないケースもあります。避けることが出来たケースも多々あったのではないかと思います。生と死を分けるもの、それは「備え」です。備えとは、災害に対する物心両面にわたる準備、それは意識、知識、実行です。

寺田寅彦の3つの提言に基づいてその内容を説明すると

1. ものを恐がらなさ過ぎたり、恐がり過ぎたりするのはやさしいが、正当(至当)に恐がることはなかなか難しい。

備えの原動力であるが、知識として災害を知っておくだけでは不十分、その時どんな状況になるのか?をイメージアップする。たとえば震度6弱の揺れがあった時は、どうなるのか。津波はどういう特徴があるのか、破壊力、繰り返し襲ってくる波、伝わる速度が非常に速い等々。

2. 人間は何度同じ災害に遭っても、決して利口にはならぬものである。

歴史が証明しているように、災害に何度も遭っておきながら、いままではそれが活かされていなかった。それが証拠に「津波てんでんこ」また「オオカミ少年」という言葉が伝えられてきた。

3. 天災は、忘れた頃にやってくる。

「忘れた頃」とは、状態をいう。すなわち備えようとする人の心に緩み、隙間ができる頃であり天災は、過去の災害の体験や教訓が風化し油断が生じた頃に、大きな被害をもたらす。この3つの提言を十分に考え、災害から少しでも身を守る方法を、考えていきたいものである。

